

1. 科目名 (単位数)	障害者介護論 (2 単位)	3. 科目番号	SNMP2118
2. 授業担当教員	新田 恵美		
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	障害の種類や程度及び原因(医学的を含め)を理解し、それぞれの障害のある人の生活について、事例を通して理解していく。その中で生活支援を介護福祉士がどのように担っていくのかを具体的に事例を通して学んでいけるように展開していく。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害の種類や程度及び原因(医学的を含む)症状を理解し、生活への影響を考えることができる。</li> <li>2. 障害のある人の生活を理解し、介護の視点を考えることができる。</li> <li>3. 障害のある人の生活とICFの概念を理解し生活環境の改善を考えることができる。</li> <li>4. 介護福祉士の役割と支援の方法を理解し、幅広い連携を考えることができる。</li> <li>5. 障害のある人の生活を支える社会的取り組み、及び現状を理解し、自立に向けた支援の方法を考えることができる。</li> </ol>		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内でまとめられなかったレポート、演習シート等は、次回の授業までに整理して提出して下さい。</li> <li>・授業の進行具合や、学生の理解度に応じて、課題を提示する場合があります。</li> </ul>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 最新・介護福祉士養成講座8『生活支援技術Ⅲ』第2版 中央法規出版 2022</p> <p>【参考書】又村あおい著 説明とイラストでよくわかる 障害のある人が使える支援 一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 2024</p> <p>資料の配布、その他参考書等については適宜授業内で紹介する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害の種類や程度及び原因(医学的を含む)症状を理解し、生活への影響を考え、介護の視点を考えることができたか。</li> <li>2. 障害のある人の生活とICFの概念を理解し生活環境の改善を考えることができたか。</li> <li>3. 障害のある人の生活を支える社会的取り組み、及び現状を理解し、自立に向けた支援の方法を考えることができたか。</li> </ol> <p>○評定の方法 [レポート 授業への積極的参加度、を総合的に評価する]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. レポート 20%</li> <li>2. 授業態度 20%</li> <li>3. 小テスト 60%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ここからだのしくみ」と関連付けて学習してください。</li> <li>・障害の理解Ⅰの授業内容を整理し、理解しておくこと。</li> <li>・授業に積極的に取り組み、提出物は必ず期限内に提出してください。評定に反映されます。</li> <li>・授業内容の理解度を確認する小テストを行います。(第5、9、13、15回)テストの結果は評定に反映されます。</li> <li>・机の上に携帯電話など教材以外のものを置くこと、他者の学習の迷惑になる行為は慎むこと。</li> <li>・不明な点は質問し、解決できるようにしてください。</li> <li>・授業には、グループディスカッションを取り入れます。他者の意見をよく聴き、自分の意見をしっかりと述べてください。</li> <li>・やむを得ず遅刻・早退・欠席をする場合は、必ずその理由を申し出て、授業内容やプリント等を確認すること。</li> </ul>		
13. オフィスアワー	授業前後の休憩時間。その他については、第1回で説明します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス 障害の基礎的理解① 障害の概念、障害者福祉の基本理念、障害の医学モデルと社会モデル	事前学習	シラバスを読んでおく。
		事後学習	障害の定義、障害者福祉の基本理念を振り返り、自分の障害の捉え方を確認する。
第2回	障害の基礎的理解② 障害の受容過程と専門職の関わり方	事前学習	障害の受容過程について確認しておく。
		事後学習	障害のある人の心理について整理し、理解を深める。
第3回	障害者支援の理念 ノーマライゼーションとリハビリテーション 尊厳の保持、エンパワメント、ストレングスマデルなどを介護の基本的視点とすることを理解する。	事前学習	障害者支援の理念について確認しておく。
		事後学習	ノーマライゼーションの理念に基づく障害者支援のあり方について整理する。
第4回	障害のある人が生活しやすい環境づくり バリアフリー、ユニバーサルデザイン	事前学習	バリアフリー、ユニバーサルデザインとは何か確認しておく。
		事後学習	障害のある人が社会で安心して暮らし続けるために、地域においてどのような支援体制

			が整えられるか整理する。
第5回	障害のある人が使える福祉サービス	事前学習	障害者総合支援法の概要を確認しておく。
		事後学習	障害のある人が使える社会資源について整理する。
第6回	障害のある人に対する支援の理解① 視覚・聴覚障害のある人の生活と介護の視点	事前学習	視覚障害の種類と原因疾患について、確認しておく。
		事後学習	視覚障害のある人の支援の留意点を整理する。
第7回	障害のある人に対する支援の理解② 言語障害のある人の生活と介護の視点	事前学習	聴覚・言語障害の種類と原因疾患について、確認しておく。
		事後学習	聴覚・言語障害のある人とのコミュニケーションと支援の留意点を整理する。
第8回	障害のある人に対する支援の理解③ 肢体不自由（運動機能障害）のある人の生活と介護の視点	事前学習	肢体不自由の種類について確認しておく。
		事後学習	肢体不自由（運動機能障害）のある人の介護の留意点を整理する。
第9回	障害のある人に対する支援の理解④ 精神障害のある人の生活と介護の視点	事前学習	精神障害の種類とその状態について確認しておく。
		事後学習	精神疾患のある人との関わり方について整理する。
第10回	障害のある人に対する支援の理解⑤知的機能障害のある人の生活と介護の視点	事前学習	知的障害の程度について、調べておく。
		事後学習	知的障害のある人との関わり方について整理する。
第11回	障害のある人に対する支援の理解⑥発達障害のある人の生活と介護の視点	事前学習	発達障害の種類について、調べておく。
		事後学習	知的障害と発達障害の違いについて整理する。
第12回	障害のある人に対する支援の理解⑦重症心身障害のある人の生活と介護の視点	事前学習	大島分類について調べておく。
		事後学習	重症心身障害のある人の介護の留意点について整理する。
第13回	障害のある人に対する支援の理解⑧ 難病のある人の生活と介護の視点	事前学習	難病の定義、難病法について、確認しておく。
		事後学習	難病のある人の介護における医療との連携について整理する。
第14回	障害のある人に対する支援① 余暇活動 障害に応じた生活に潤いと楽しみをもたらす余暇活動について具体的方法について考える。	事前学習	余暇活動の意義について調べておく。
		事後学習	余暇活動における介護福祉士の役割を整理する。
第15回	障害のある人に対する支援② 家族支援、レスパイトケア 地域における障害者及び家族に対してのサポート体制、特に機関や職種について理解すると共に、専門職として連携をどのようにとっていくことが必要であるか、実践につなげられるように進めていく。	事前学習	障害のある人を介護する家族を支援するサービスについて調べておく。
		事後学習	家族への支援の方法について整理する。
期末試験			